

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 にじ 組	7 月 17 日 (木)	萱場直華

● 実施計画

活動テーマ	
たべもの ～水～ 水ってなに？	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
水を触ったときの冷たさや流れる様子、こぼれたり消えたりする不思議さに日常的に興味をもっている。「なんでぬれるの?」「なんで流れるの?」と、感覚を通じた体験から水に関心を寄せている。	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
10:00～10:10	<ul style="list-style-type: none"> ・水とは何かを問いかける。
10:10～10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。 ・水を水槽やコップに入れて観察してみる。 ・さまざまな形の容器に水を入れて、形の変化を探究してみる。 ・水の流れを探究してみる。
10:30～10:40	<ul style="list-style-type: none"> ・温度で水がどのように変化するかを調べてみる。 ・探検での発見や感想を発表する。発表の内容をホワイトボードにまとめていく。 ・水の性質について確認する。
【環境設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・安全に探究できるよう環境を設定する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 【活動使用教材】 <ul style="list-style-type: none"> ・水 ・絵の具(水色) ・透明のプラスチックコップ ・さまざまな形の容器(皿、コップ、袋など) ・スロープ ・電気ポット ・水 ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・水を扱う活動になるため、水で濡れる点に注意し、転倒などの事故を防ぐよう環境を設定しておく。 ・牛乳パックやペットボトルなどで傾斜のあるコース(スロープ)を用意しておく。子どもたちと作成しても良い。 ※切り口でけがをしないよう配慮する。 ・氷を作っておく。子どもたちと一緒に作っても良い。 ・探究活動で使用する用具の使用方法を設定しておく。 	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・導入では、水はどのようなものか考え、「ご飯をつくるとき」「手洗いうがい、お風呂のお湯」「つめたい」「透明」など、日常生活からくるもの、感覚や印象から水について考える発言していた。</p> <p>・プラスチックのカップに水をいれて観察し、色、形、においや流れ、三態と状態変化など体験を通じて探究を深めた。</p> <p>・指にシナモンをつけて水に入れてもシナモンが溶けないという実験を行い、水と物質の違いを楽しくしれるようにした。</p> <p>・振り返りでは、気づきや調べた内容を共有し合った。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・「水って雨も水だよね。」</p> <p>・「水色って水の色とは違う。なんで絵具はこの色なんだろう？」</p> <p>・「水は形ないよね。」と形に気が付く子どももいた。</p> <p>・発見を友だちに共有する姿が見られた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・一人ひとりの気づきをみんなで共有できるように、人前での発言が苦手な子には個別で聞きにいたりして、全員で考えて探求できるように工夫した。</p>

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<p>・子どもによって着目するポイントが異なり、一人ひとりの視点や感じ方に違いがあることがよくわかった。そこに丁寧に寄り添うことで、気づきや学びが深まったことに気が付いた。</p> <p>・保育者が「教える」のではなく、「一緒に気づく・一緒に疑問に思う」で関わることで、探究的な学びの促進につながると感じた。</p>	<p>今回のように「一緒に気付く姿勢」を続けていくことが、子どもたちにとって「安心して発言できる雰囲気づくり」にもつながります。安心感のある場でこそ、多様な意見や探求的な学びが引き出されるはずです。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 にじ 組	8 月 15 日 (金)	萱場直華

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～野菜～ 食べているのはどこ？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
探究活動を通じて、給食の時間に「この野菜はなんで固いの？」「ここは皮なの？」と野菜によって形や食感が違うことに気付き、不思議に思う姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～10:10	・前回の活動を振り返る。	【環境設定】 ・調べたり、興味関心を深めたりできるように、図鑑やタブレットを活用できる環境を用意する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
10:10～10:30	・植物の根、茎、葉、花、実・種などの名称を確認する。 ・野菜を食べている部分で5つの分類に分ける。 ・食べている部分以外は食べられないのか探究する。	
10:30～10:40	・分類分けの結果を見て、活動を振り返る。	
		【準備物】 ・野菜カード ・野菜の絵本 ・野菜の図鑑 ・iPad、タブレット、PCなど(保育者が調べるために使用) ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー 【事前準備】 ・日頃から植物図鑑などで植物の名称に慣れる機会をつくる。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・前回の活動内容の振り返りから始め、子どもたちが自分の体験や気づきを言葉にすることで学びを整理し、次の探究への関心を高める。</p> <p>・この野菜はどこを食べていると思うか問いかけを行い、「根」「茎」「葉」「実」「花」などの部位を意識して考えるよう促した。</p> <p>・友達と相談しながら、同じ部位を食べている野菜をグループに分ける活動を行った。</p> <p>・活動中に出た疑問を共有し、図鑑や写真で確認、子どもたちの気づきを言葉にして記録し、簡単な分類表や掲示物として見える化した。</p> <p>・最後に「今日の給食にある野菜は、どの部分かな？」と生活に結びつけ、日常への関心へとつなげた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・図鑑や野菜カードをじっくり見て、「ここの白い部分が根かな？」「これは花に見える！」と細かいところに注目して考える姿があった。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・写真やカードを子どもたちが自由に見られるように並べ、子どもの気づきや発言を拾いながら「どうしてそう思ったの？」「他にも似てるのはある？」と問いかけを行った。</p> <p>・部位によって分類する際、「根」「葉」「実」などは、それぞれの役割や見た目の違いに目を向けられるように導いた。</p> <p>・活動の最後には「今日の給食にはどの部分の野菜があるかな？」と生活と結びつける声かけをし、食への関心につなげた。</p>

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<p>・野菜を部位ごとに分類する過程で、自分なりの根拠をもって考える姿が多く見られ、子どもたちが“考えて選ぶ”ことを楽しんでいることに気付いた。</p> <p>・実物がなくても、子ども同士の会話や発見の共有によって学びが広がっていく様子から、「知ること」の楽しさを支える環境づくりの大切さを改めて感じた。</p> <p>・「根・葉・実・花」などの専門的な語彙にも興味をもち、言葉を覚えることでさらに分類が楽しくなる様子が見られ、言葉と体験を結びつける保育の重要性を実感した。</p>	<p>分類を通して、子どもが言葉と実体験を関連づけ、自分なりの視点で整理していく姿が見受けられたことは大きな成長です。</p> <p>「根・葉・実・花」という語彙を使うことで、子どもの思考がより明確になり、仲間との対話の質も高まっています。今後は、得た知識を生活や食への興味に結びつけていけるよう、探究の連続性を意識して保育を展開していきましょう。</p>

実施クラス			実施日	実施保育者名
5	歳児	にじ 組	12 月 23 日 (火)	萱場 直華

● 実施計画

活動テーマ			
アート～この絵どんな絵？～ 絵にはどんな種類があるの？			
活動テーマに関する 日頃の興味関心について			
生活の中でさまざまな絵に触れており、キャラクターの絵や写実的な絵を見比べて「ちがうね」「おもしろい」と気づいている。絵の雰囲気や描き方の違いに自然と目を向ける姿がある。			
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物	
時間	内容		
14:00～14:05	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返りとして、絵画を見えるように準備し、お気に入りの絵画を思い出せるようにする。 ・絵を描く際に使う道具を問いかけながら、絵の種類について考える。 ・「絵の具やクレヨン以外に、どんな方法で絵を描くことができるかな？」と話し、絵画の多様性を伝える。 	【環境設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・全員が見えやすい位置で話を聞けるよう工夫する。 ・製作に集中できるスペースを確保し、作業しやすい環境を整える。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を重視する。 ・ホワイトボード ・マグネット、テープなど	
14:05～14:30	グループに分かれてどんな方法で書かれているのかを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・使っている技法や作者の特徴を考えながら「ゴッホのひまわり」の塗り絵を行う。 ・見本を見ながら同じように塗っても良いし、ゴッホの気持ちを考えながら、違う色で仕上げても良いということを伝える。 ・アートは自分の想像したことや好きなことを自由に表現しても良いということを伝える。 		
14:30～14:40	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を発表し、「なぜこの素材を選んだのか？」など質問し、作品への思いを発表する機会を作る。 ・「どんな工夫をしたのか？」を聞きながら、自分の表現について振り返る機会を作る。 		【準備物】 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴッホのひまわりの塗り絵

	<ul style="list-style-type: none"> ・絵は描くだけでなく、異なる素材を使って表現できることを振り返る。 ・「次はどんなものを使って作品を作りたい？」と問いかけ、新たな興味を引き出す。
--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・使う道具や画材によって、絵の雰囲気や色味が変わるということを伝えた。 ・園にある画材は何かを考え、名画と同じような作品を作るにはどうしたら良いかを考える時間を設けた。 ・上記をふまえて、子どもたちが強い興味を示していた「ゴッホのひまわり」の作品の塗り絵をした。自ら園にある画材の中で、どうしたらゴッホのような作品になるのかを考えたり、自分らしい作品作りにも励んでいた。 	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クレヨン、色鉛筆、絵具」等よく使うものをあげる子どももいれば、「シャープペンとボールペンもあるよね。」と言い、子どもたちになじみのないものも見つけられた子どもがいた。 「ゴッホは黄色いひまわりを描いていたけれども、ピンクのひまわりもいいね。」と多様な表現を認め合う姿があった。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どうして、この画材にしたのかな。」と聞くと、「ゴッホさんの時代にあったか分からないけど似ていると思ったから。」と答える子どもがいた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、最初は何の道具を使っているか分からないという姿があったが、1人が意見をすると発想が広がるように自由に話だす姿が見られた。 ・ゴッホのひまわりの塗り絵をする時間では、集中して黙々と作業を進め「ゴッホさんの気持ちになる。」と話しながら塗り進める子どもがいた。今回の名画の活動を通して、子どもたちなりにアート作品に触れ、作者や世界に目を向けたり、画材を知ったりと新たな考えを生み出したり探求することができたので良かったと思う。 	<p>はじめの発言が周りの子の励みになることもありますね。一つひとつの発言を十分に褒めていくことも今後も大切にしていってください。</p> <p>画家のことをよく知ろうとする気持ちも芽生えるのだと驚きました。作者や世界、幅広い物に興味を持てる充実した活動内容だったと思います。</p>